

THREEUP

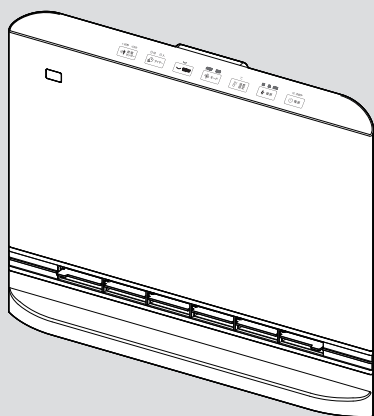
THREEUP

パネルセラミックヒーター

「スマートスリムヒート」(スイング)

CH-T2695

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1 ~ 3
各部のなまえ	4 ~ 5
パッケージ内容	5
別売品	5
仕様	5

ご使用の前に

設置について	6
リモコンについて	6

ご使用方法

運転する(連続運転)	7
首振り運転する	7
停止する	8
風向きを変える	8
暖房運転を切り替える	9
大風量暖房運転と速暖運転を使う	9
オフタイマーを使う	10
オンタイマーを使う	11
温度設定を使う	12
節電センサーモード(自動運転)	13

点検・サービス

お手入れと保管方法	14 ~ 15
コンセントの点検	16
故障かな?と思ったら	17
保証・サービス	18

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、けがの原因になります。
分解や修理をしないでください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様や取り扱いに不慣れな方、ご自分で体温調節のできない方だけで使ったり、触れさせたりしないでください。
感電やけが、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

本体のすき間にピンや針金などの異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。
火災やけがの原因になります。



禁止

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショート、発火の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。
コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

長時間、体の同じ場所を温め続けしないでください。
やけどや低温やけどの原因になります。
とくに皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。
過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

温風吹出口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。
衣類やカーテンなどで温風吹出口や吸気口がふさがれたり、本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

ボタン電池を火の中に入れたり、水に濡らしたりしないでください。
また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。

警告

電源は必ず家庭用100V電源(容量15A-1500W)を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちる原因や、発熱による火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグや電源コードを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市区町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

靴や衣類などの乾燥には使わないでください。

火災ややけどの原因になります。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。

設置場所について、P.6「設置について」を必ずご確認ください。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



必ず守る



必ず守る



接触禁止

運転中と運転停止直後は温風吹出口に触れないでください。

高温になっているため、やけどのおそれがあります。

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。

吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。また、運転中に吸気フィルターを取り外さないでください。

本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、事故や故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

壁や家具の近くで使用しないでください。過熱による変形や変色、火災の原因になります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

就寝時や人のいない場所では使用しないでください。

事故や火災の原因になります。

犬や猫などのペット用には使わないでください。

ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

衣類の真下に設置しないでください。衣類が落下すると、吸い込みによる故障の原因となります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

- 落下、転倒などにより、けがや事故、故障の原因になります。
- 安定した水平な場所に置かれていないと転倒時自動オフスイッチが働き、運転が停止します。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。

転倒、破損によるけがや事故の原因になります。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

- 電極 (+/-) を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- 汗や手指などが付着すると、接触不良の原因になります。

お手入れや持ち運び、保管の際は、本体が冷めてから行ってください。火災ややけどの原因になります。



禁止



禁止



必ず守る

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

- 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。
- 節電センサーが汚れていると、作動しなかったり誤作動したりする場合があります。

節電センサー部周囲の環境に注意して設置してください。

設置環境について、P.13「節電センサーモード(自動運転)」をご確認ください。

ボタン電池は電極 (+/-) の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。

温風吹出口や吸気口の内部に指を入れないでください。

けがの原因になります。

運転中にルーバーのつまみを持って風向きを変えないでください。

やけどの原因になります。



接触禁止

各部のなまえ

■ 本体

操作部

節電センサーランプ

ディスプレイ

温度設定時の周囲温度・設定温度、オン/オフタイマーの時間を表示します。

℃ランプ

温度設定時の設定温度の表示中に点灯します。

節電センサーボタン

タイマーランプ

首振りランプ

モードランプ

温度設定ランプ

暖房ランプ

冷却中ランプ

電源ボタン

暖房ボタン

温度設定ボタン

モードボタン

首振りボタン

タイマーボタン

正面

節電センサー

温風吹出口
(送風口)

ルーバー

背面

取っ手

リモコン収納部

吸気口

吸気フィルター

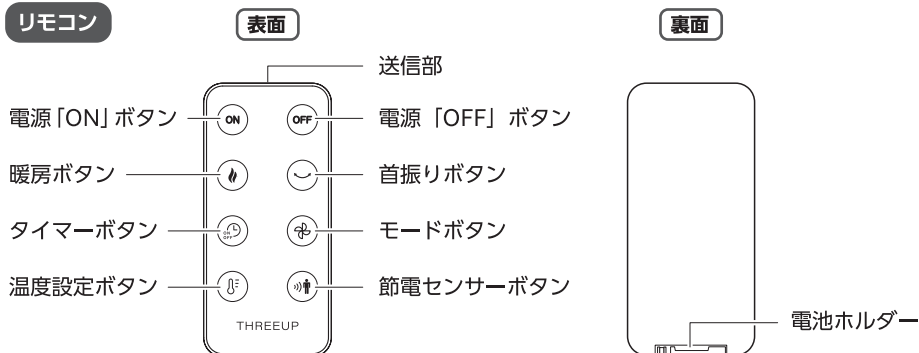
フィルターカバー

電源コード

電源プラグ

■ 付属品

リモコン



パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本 体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
リモコン（CR2025リチウム電池内蔵）	1	—	—

別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	製品単価（税抜）
吸気フィルター	1	500 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

仕様

本体サイズ	幅48×奥行15×高さ45cm	本体重量	約3.3 kg
材質	PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	大風量暖房運転/1200W、強/1100W、弱/800W、節電/400W		
運転モード	ヒーター 4段階切替（大風量暖房/強/弱/節電）、節電センサー（自動運転）、温度設定（18～30℃）、速暖		
コード長	約1.5 m	自動首振り	左右約60°
機能	メモリー機能、減灯機能、手動ルーバー（上下）	オン/オフタイマー設定	1～8時間（1時間単位）
自動オフタイマー	10時間	安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット、転倒時自動オフスイッチ
1時間あたりの電気代	約37.2円（大風量暖房/1200W連続運転時）		

※ 製品は改良のため、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh（税込）で計算した際の目安となります。

ご使用方法

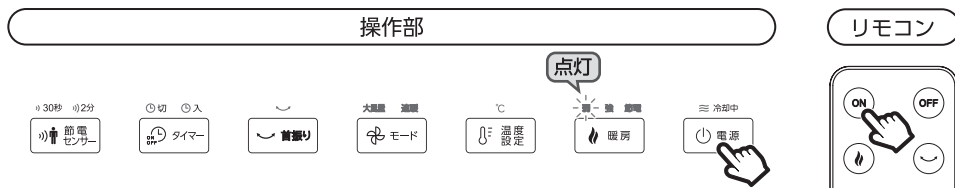
運転する(連続運転)

はじめてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分のにおいがすることや、まれに少量の煙が出るがありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピッピッ”と電子音が鳴って、すべてのランプとディスプレイが点灯したあとに消灯し、待機状態になります。



- ② 本体の『電源』ボタンまたはリモコンの『電源「ON」』ボタンを押します。
『暖房』ランプが点灯して、『弱』で運転を開始します。
• ボタン操作時は“ピッ”と電子音が鳴ります。



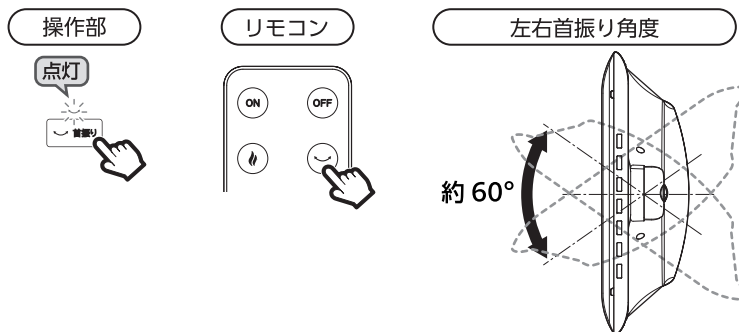
首振り運転する

■ 首振り運転のしかた

運転中に本体またはリモコンの『首振り』ボタンを押します。
『首振り』ランプが点灯して、左右方向に約60°(左右30°)の首振り運転を開始します。

■ 首振り運転の解除のしかた

もう一度本体またはリモコンの『首振り』ボタンを押します。
『首振り』ランプが消灯して、『首振り』ボタンを押した位置で停止します。



停止する

運転中に本体の『電源』ボタンまたはリモコンの『電源「OFF」』ボタンを押します。

“ピーッ”と電子音が鳴って各ランプが消灯し、内部冷却のため約30秒間の送風運転したあと、運転が停止します。

送風運転中は「冷却中」ランプが点灯します。送風運転が停止すると「冷却中」ランプは消灯します。



⚠ 注意



必ず守る

- ・長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源プラグを抜く場合は、必ず先に「電源」ボタンを押し、「送風運転の停止」を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

自動オフタイマー機能

電源の消し忘れを防止するため、最後の操作から10時間後に自動停止します。
※節電センサーモード設定中は、自動オフタイマー機能は動きません。

減灯機能

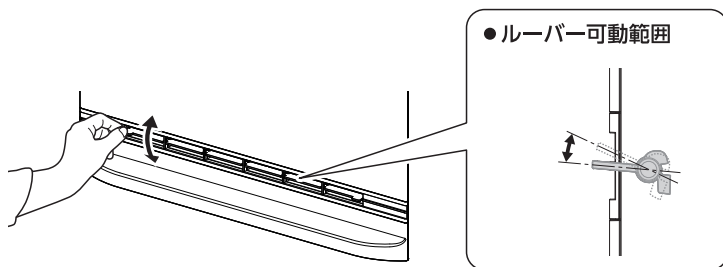
約60秒後に減灯機能が働き、ディスプレイ表示と各ランプが暗くなります。

メモリー機能

一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマー設定は除く)
はじめてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは、「弱」で運転を開始します。

風向きを変える

ルーバーのツマミを持って上下に動かします。

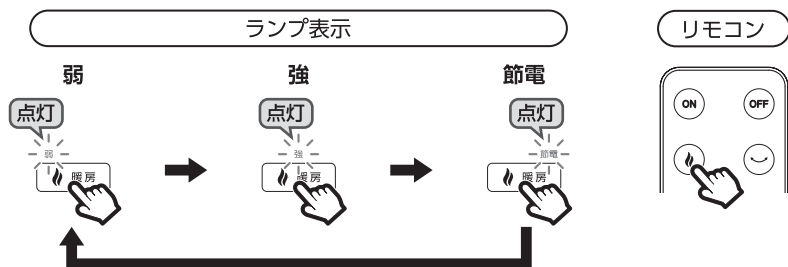


ご使用方法

暖房運転を切り替える

運転中に本体またはリモコンの『暖房』ボタンを押します。

『暖房』ボタンを押すたびにヒーターの動作が「弱」、「強」、「節電」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『暖房』ランプも切り替わります。



メモ 「弱」と「強」と「節電」の切り替えはヒーターの発熱量を切り替えるもので、温風の風量は変わりません。

大風量暖房運転と速暖運転を使う

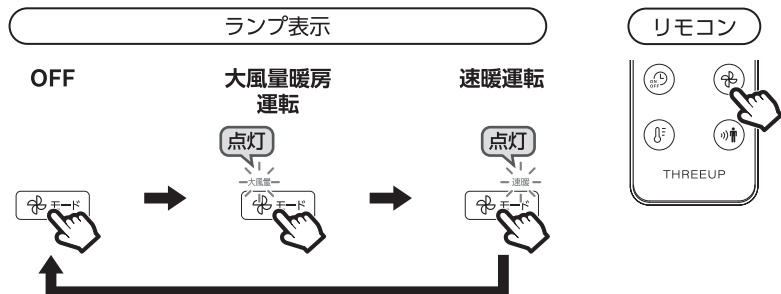
■ 大風量暖房運転と速暖運転について

大風量暖房運転	暖房運転の風量と発熱量を強くします。
速暖運転	「強」で約10分運転したあと、自動で「節電」に切り替わります。

■ 大風量暖房運転と速暖運転の切り替えかた

運転中に本体またはリモコンの『モード』ボタンを押します。

『モード』ボタンを押すたびに運転モードが切り替わり、設定にあわせて点灯する『モード』ランプも切り替わります。



■ 大風量暖房運転と速暖運転の解除のしかた

解除する場合は、『モード』ランプが消灯するまで繰り返し『モード』ボタンを押します。

メモ 速暖運転に切り替えると『暖房』ランプ「強」も点灯し、「節電」に切り替わる際に『暖房』ランプも自動で「節電」に切り替わります。

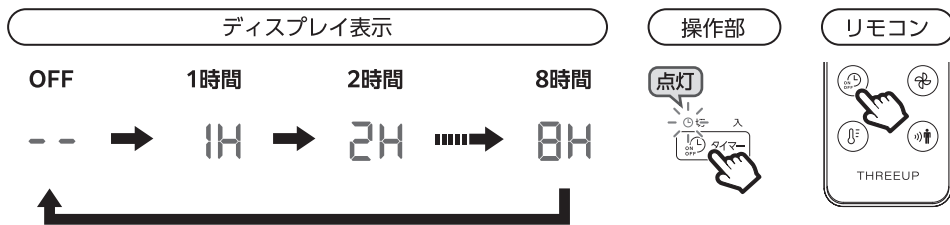
オフタイマーを使う

■ オフタイマーについて

1～8時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーの設定のしかた

- ① 運転中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイが時間設定表示となり、「ー」の表示で点滅します。
- ② ディスプレイの点滅中に『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。
『タイマー』ランプ「切」が点灯し、『タイマー』ボタンを押すたびに設定時間が1時間ずつ増えます。
点滅時間は約5秒間です。点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた時間で設定されます。
- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイの表示が消灯すると、設定完了となります。
残り時間を確認したいときは、本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押すと残り時間が約5秒間点滅表示します。時間経過に応じて残り時間は減少します。



■ オフタイマーの解除のしかた

解除する場合は、ディスプレイに「ー」と表示されるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押します。
『タイマー』ランプ「切」が消灯します。

ご使用方法

オンタイマーを使う

■ オンタイマーについて

1～8時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

■ オンタイマーの設定のしかた

- ① 待機中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイが時間設定表示となり、「ー」の表示で点滅します。
- ② ディスプレイの点滅中に『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。
『タイマー』ランプ「入」が点灯し、『タイマー』ボタンを押すたびに設定時間が1時間ずつ増えます。
点滅時間は約5秒間です。
- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。
オンタイマーの設定中は、運転が開始されるまでディスプレイに残り時間が表示され、『タイマー』ランプ「入」が点灯します。

メモ

オンタイマーで設定した時間が経過すると、“ピッ”と電子音が鳴り、設定時に記憶された動作で運転を開始します。



■ オンタイマーの解除のしかた

解除する場合は、本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押してディスプレイを点滅表示させ、「ー」と表示されるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押すか、『電源』ボタンを押します。
オンタイマーの設定完了後に『電源』ボタンを押すと、オンタイマーの設定はリセットされ、運転を開始します。

■ 運転開始時の動作設定と変更のしかた

『電源』ボタン以外のボタンを押すと、動作設定を変更することができます。
設定した動作のランプが約5秒後に消灯すると設定完了となります。

温度設定を使う

温度設定について

- 温度設定中は、設定温度と周囲温度の差にあわせて、次のように自動で動作が切り替わります。

設定温度と周囲温度の差	動作	暖房ランプ
設定温度<周囲温度	停止	消灯
1～3℃	弱	「弱」点灯
4℃以上	強	「強」点灯

※本体の周囲温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する温度となります。

- 設定可能な温度は18℃～30℃です。
- 温度設定中は、ヒーターの動作（「弱」、「強」、「節電」）を切り替えることはできません。

メモ

運転停止後から運転再開するまでの動作について、周囲温度が設定した温度を超えて自動で運転停止したあとは、周囲温度と設定した温度の差が1℃以上になると運転を再開します。

温度設定のしかた

- ① 運転中に本体またはリモコンの『温度設定』ボタンを押します。
ディスプレイが設定表示に切り替わって点滅し、『温度設定』ランプが点灯します。
- ② ディスプレイの点滅中に『温度設定』ボタンを押して温度を設定します。
『温度設定』ボタンを押すたびに設定温度が1℃ずつ上がります。
点滅時間は約5秒間です。点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた温度で設定されます。
- ③ 温度を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅から周囲温度表示に切り替わると、設定完了となります。『温度設定』ボタンを押すと設定した温度を確認することができます。



温度設定の解除のしかた

解除する場合は、『暖房』ボタンまたは『モード』ボタンを押します。

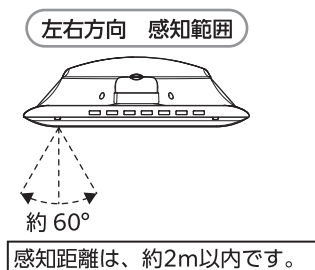
ご使用方法

節電センサーモード(自動運転)

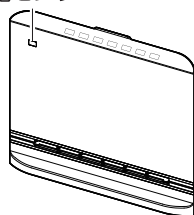
■ 節電センサーモードについて

節電センサーモードは人の動きを感知して、自動的に運転・停止をおこないます。

■ 節電センサーの感知範囲



節電センサー



■ 設置環境

- 節電センサーは熱の変化に反応するため、次のような場所では作動しなかったり、誤作動したりする場合があります。
 - ・カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
 - ・節電センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
 - ・エアコンなどの送風を受ける場所
 - ・温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
 - ・湿度の高い場所や加湿器の近く
- 人がいても、ゆっくりとした動きや速い動き、小さい動き、じっとしているときなどには節電センサーは感知しません。
- ペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

■ 節電センサーモードを設定する

運転中に本体またはリモコンの『節電センサー』ボタンを押します。

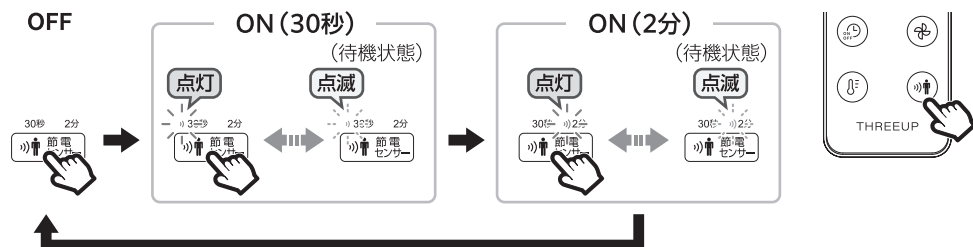
『節電センサー』ボタンを押すたびに節電センサーモードが「ON(30秒)」、「ON(2分)」、「OFF」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『節電センサー』ランプも切り替わります。

メモ

- 節電センサーモードが「ON(30秒)」設定時は30秒間、「ON(2分)」設定時は2分間、連続で人を感じないと「節電センサー」ランプが点滅して待機状態となり、送風運転(約30秒間)したあとに運転を停止します。待機中に節電センサーが人を感じると「ビッ」と電子音が鳴り、「節電センサー」ランプが点灯し、運転を再開します。
- 送風運転中は「冷却中」ランプが点灯します。送風運転が停止すると「冷却中」ランプは消灯します。

『節電センサー』ランプ表示

リモコン



お手入れと保管方法

⚠ 警告



必ず守る

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分に冷えてからお手入れをしてください。

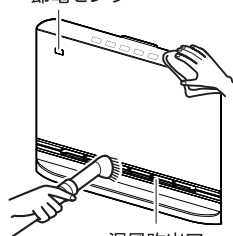
感電やけが、やけどの原因になります。

■ 本体と節電センサーのお手入れ

ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。そのあと乾いた柔らかい布で拭いて、十分に乾かしてください。

お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ペンジン、アルコールなどは使用しないでください。

節電センサー



温風吹出口

■ 温風吹出口のお手入れ

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

温風吹出口の変色について

ご使用方法、ご使用状況によっては温風吹出口が変色する場合がありますが、性能や安全性に問題はありません。

また変色や変形の原因になりますので、次のようなご使用方法はお避けください。

- 温風吹出口、吸気口、吸気フィルターにホコリが詰まった状態での使用。
- 吸気口、温風吹出口付近に障害物がある状態での使用
- 机の下など狭く囲まれた場所での使用

■ 吸気口のお手入れ

お願い

吸気口および吸気フィルターは、本機の性能を維持するため、2週間に1回以上お手入れをしてください。

フィルターカバーを取り外してお手入れをしてください。

- ① フィルターカバーのくぼみに指をかけ、手前に引いて取り外します。
- ② フィルターカバーから吸気フィルターを取り外します。
- ③ 各部のお手入れをします。

フィルターカバーのお手入れ

本体と同じ方法でお手入れをしてください。

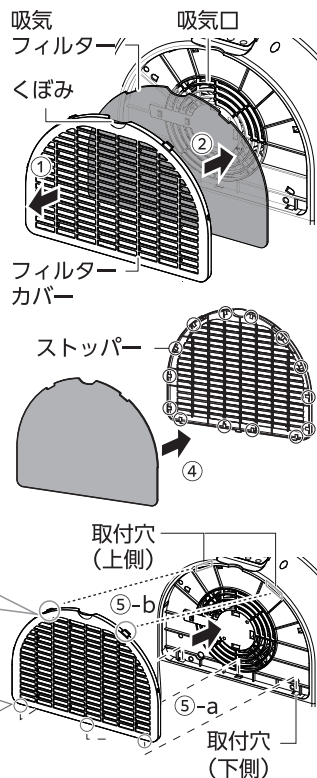
吸気フィルターのお手入れ

水洗いをしてください。掃除機でのお手入れは吸気フィルターが破れたり、吸い込まれたりするおそれがありますので、お避けください。お手入れ後は陰干しして十分に乾かしてください。

吸気口のお手入れ

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

- ④ 吸気フィルターをフィルターカバーに装着します。
フィルターカバー内側のストッパー(14か所)に引っ掛けてください。
- ⑤ フィルターカバーを本体に取り付けます。
a. フィルターカバー底面のツメ(3か所)を、本体下側の取付穴に差し込みます。
b. フィルターカバーのフック(2か所)を、本体上側の取付穴に引っかけます。



■ 吸気フィルターの交換時期

吸気フィルターが破れたり、汚れがひどくなったりした場合などは交換してください。
吸気フィルターをお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

■ 保管について

- お手入れのあと、各部の水分をよく拭き取り、陰干しして十分乾燥させてください。
湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- 本体にポリ袋をかぶせてお買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

コンセントの点検

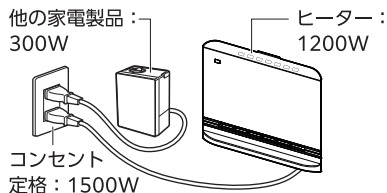
●コンセントなどの配線器具には寿命があります。

経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

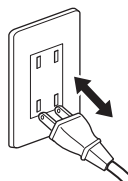
誤った使いかたの例



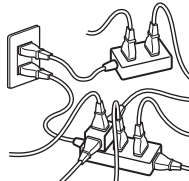
定格容量いっぱいで使用する



電源プラグを斜めに抜き差しする



タコ足配線する



●下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- 電源プラグの抜き差しがゆるい。
- 電源プラグやコンセントが触れられないほど熱い。
- 表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- 表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。
焼損や火災、事故の原因になります。



長年ご使用のヒーターはよく点検をおこなってください。

●このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが触れられないほど熱い。
(別のコンセントに差し直しても熱い)
- 電源コードや電源プラグが破損した。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

故障かな?と思ったら

スリーアップカスタマーサポートにご連絡いただく前に、下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
運転しない	- 電源プラグが外れている。 - 電源が「OFF」になっている。 - 安定した水平な場所に置かれていない。 (転倒時自動オフスイッチが働いている) - 内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている。	- 電源プラグをコンセントに接続してください。 『電源』ボタンを押してください。 - 安定した平らな床面でお使いください。 - 本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷めてから再度運転をしてください。
温風が出ない	- 吸気口や吸気フィルターが汚れている。 - 節電センサーモードまたは温度設定を使用している。 - 温度設定モードで設定温度に達している。	- 吸気口や吸気フィルターのお手入れをしてください。 - 設定中のモードを切り替えて、ご確認ください。 - 温度設定モードを解除するか、設定温度を変更してください。
急に温かくなかった	ヒーターの動作を「速暖」に設定している。	「速暖」に設定すると、「強」で約10分運転したあと、自動で「節電」に切り替わります。
電源を切っても停止しない	運転停止直後である。	運転停止直後は、ヒーターの冷却のため約30秒送風が続きます。故障ではありません。
運転音大きい	- 不安定な場所に設置している。 - 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。	- 安定した水平な場所に設置してください。 - 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口のお手入れをしてください。
異臭がする	- はじめて運転をしたため。 - 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。	- はじめてご使用になるときは、においや、まれに少量の煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になります。 - 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口のお手入れをしてください。
節電センサーが感知しない	- 節電センサーモードに設定されていない。 - 節電センサーが汚れている。 - 節電センサーに直射日光が当たる場所や、カーテンなど風で揺れるものの近くに設置している。 - 節電センサーの感知範囲を超えている。	『節電センサー』ボタンを押して節電センサーモードに切り替えてください。 - 節電センサーのお手入れをしてください。(定期的にお手入れをしてください。) - 設置環境について、P.13「節電センサーモード(自動運転)」をご確認ください。 - 節電センサー感知範囲内でお使いください。
電源が落ちる	- 自動オフタイマーが作動した。 - 吸気口や吸気フィルターにホコリが付着している。	『電源』ボタンを押して運転を再開してください。 - 吸気口や吸気フィルターのお手入れをしてください。
ディスプレイに「E1」または「E2」が表示された	製品内部が故障している。	直ちに使用を中止して、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。
ディスプレイに「E3」が表示された	- 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。 - 製品内部の温度が上がり過ぎている。	- 吸気口や吸気フィルターのお手入れをしてください。 - しばらく待って、ディスプレイの表示が消えてから再度運転をしてください。改善が見られない場合は、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。
カラカラと転がるような音がする	転倒時自動オフスイッチが働いている。	本体を動かしたときに音がする場合は、転倒時自動オフスイッチの動作音です。故障ではありません。
電源プラグが熱い	- 延長コードやテーブルタップを使用している。 - 消費電力が高いため、使用中は電源プラグの温度が上がる。	- 延長コードやテーブルタップを使用しないでください。壁のコンセントをご使用ください。 - 異常や故障ではありません。ただし、触れられないほど熱いと感じる場合は、別のコンセントで確認してください。

※ 上記の点検をおこなっても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 弊社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。